

640705
南・知・

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月16日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-074330

出 願 人
Applicant(s):

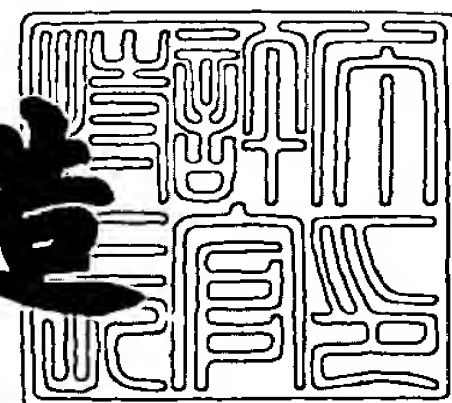
株式会社ニコン技術工房
株式会社ニコン



2000年 9月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3077766

【書類名】 特許願

【整理番号】 00-00258

【提出日】 平成12年 3月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区二葉1丁目3番25号 株式会社ニコン技
 術工房内

 【氏名】 太田 雅

【特許出願人】

 【識別番号】 596075462

 【氏名又は名称】 株式会社ニコン技術工房

【特許出願人】

 【識別番号】 000004112

 【氏名又は名称】 株式会社ニコン

【代理人】

 【識別番号】 100078189

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 渡辺 隆男

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 050902

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリントサービスの課金システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけてその内容を記録する記録手段と、
前記記録手段が前回記録した日時と、今回記録した日時とを照合する照合手段と、
前記照合手段の出力と今回の依頼内容を基にプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 2】 ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけてその内容を記録する記録手段と、
前記記録手段が最初に記録した日時と、今回記録した日時とを照合する照合手段と、
前記照合手段の出力と今回の依頼内容を基にプリントの料金を計算する計算手段とを有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 3】 前記記録手段は更に前記ユーザを特定するユーザ ID を有することを特徴とする請求項 1、2 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 4】 前記ユーザ ID とは、前記ユーザの登録番号、前記ユーザ名、前記ユーザの電話番号あるいは及び住所から成ることを特徴とする請求項 3 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 5】 ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリント

をユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけて前記ユーザ I D を記録する記録手段と、
前記記録手段が最初に記録した個別のユーザ I D と、今回記録したユーザ I D とが同一か否かを照合する照合手段と、
前記照合手段の出力を基に今回のプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 6】 ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記サーバコンピュータは、前記ユーザが入力した情報を基に、前記ユーザを特定するための個別ファイルを作成する個別ファイル作成手段と、
前記個別ファイル作成手段が前回作成した個別ファイルと、今回作成した個別ファイルとを照合する照合手段と、
前記照合手段の出力を基に今回のプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 7】 前記個別ファイルは、前記ユーザを識別するユーザ I D エリアと、受け付けに関連した内容を記録する受け付け内容エリアとからなることを特徴とする請求項 6 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 8】 前記受け付け内容エリアには、前記ユーザからの依頼内容のほかに、少なくとも受付番号、受付日時、合計金額を含むことを特徴とする請求項 7 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 9】 ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記サーバコンピュータは、ユーザが入力した氏名、電話番号、住所を基に登録番号を作成するための登録番号作成手段と、

前記ユーザが入力した登録番号、氏名、電話番号あるいは及び住所を記録する記録手段と、

前記登録番号作成手段がこれまでに作成した登録番号の内からと前記ユーザが入力した登録番号を検索する検索手段と、

前記検索手段の出力を基に前記ユーザの氏名、電話番号、住所を確認する確認手段と、を有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 1 0】 ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、

前記サーバコンピュータは、ユーザが入力した氏名、電話番号、住所を基に登録番号を作成するための登録番号作成手段と、

前記ユーザが入力した登録番号、氏名、電話番号あるいは及び住所を記録する記録手段と、

前記登録番号作成手段がこれまでに作成した登録番号の内からと前記ユーザが入力した登録番号を検索する検索手段と、

前記検索手段の出力を基に前記ユーザの氏名、電話番号、住所を確認する確認手段と

前記確認手段の出力に基づいてプリント料金を計算する計算手段と、を有することを特徴とするプリントサービスの課金システム。

【請求項 1 1】 前記プリント料金を計算するに当たっては、前記ユーザが同一のプリントシステムを利用する場合に適用することを特徴とする請求項 1、 2、 5、 6、 9、 1 0 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 1 2】 前記プリント料金を計算するに当たっては、前記ユーザが同一の前記プリントサービス取り扱い窓口を利用する場合に適用することを特徴とする請求項 1、 2、 5、 6、 9、 1 0 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 1 3】 前記プリント料金の計算方法は、前記最初にあるいは前回に前記プリント依頼を受け付けた日時に応じて、複数種類存在することを特徴とする請求項 1、 2、 5、 6、 9、 1 0 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 1 4】 前記複数のプリント料金の計算方法において、前記最初にあるい

は前回に前記プリント依頼を受け付けた日時からの経過日数が増加するに従って、前記最初に注文を受け付けた際の料金システムに近づくことを特徴とする請求項 1、2、5、6、9、10 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 15】前記プリント料金の計算の対象は、前記プリント依頼を 1 回受け付ける毎に課金する基本料金であることを特徴とする請求項 1、2、5、6、9、10 に記載のプリントサービスの課金システム。

【請求項 16】前記プリント料金の計算の対象は、各前記プリント依頼受付時のプリントの合計金額であることを特徴とする請求項 1、2、5、6、9、10 に記載のプリントサービスの課金システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像プリントサービスをインターネット等のネットワークを通じてユーザに提供するプリントサービスの課金システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、フォトネットサービス等のサービス名称でデジタル画像データをプリントアウトするサービスが知られている。

【0003】

これらのサービスにおいては、通常、J P E G フォーマット等で画像を記録したフロッピーディスクや M O ディスク等の記録媒体をユーザが直接店頭に持参してプリントを依頼したり、あるいは自宅のパソコンからインターネットを介してパソコン画面に表示されるプリント依頼用画面のメーカー指定の申し込み手順に従って記入した後、画像の転送をして、できあがったプリントをユーザが店頭で引き取る形態がとられている。しかしながら、上述したような従来のプリントサービスにおいては店頭あるいはインターネットによらず、1 回のプリント依頼につき、主としてプリントをする装置を操作させるための技術料等を名目にした基本料金がプリント代金に加算されてユーザに請求されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】この様な従来のサービスシステムにおいては、

例えば1枚あるいは2枚のプリント漏れや追加等あっても新たに基本料が請求され、その結果としてプリント単価が高くなってしまい、ユーザはなかなか追加プリント発注を行う気にはならなくなってしまう。これの対策として、ラボあるいは受付窓口において、何人かのプリント注文をまとめることにより基本料を取らないで追加プリントサービスをすることも可能であり、このようにすると受付窓口やラボによって課金形態が異なってきて、課金処理が複雑になる上にユーザにはこれらの事情は分かり難い。

【0 0 0 5】

本発明はこのような従来の問題点に鑑みてなされたもので、ユーザに対して従来の銀塩プリントの焼き増し感覚で追加プリントの依頼をする気を起こさせるようなシステムを提供することを目的とする。

【0 0 0 6】

【問題点を解決する為の手段】 上記問題点の解決のために、請求項1の発明は、ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけてその内容を記録する記録手段と、
前記記録手段が前回記録した日時と、今回記録した日時とを照合する照合手段と、
前記照合比較手段の出力と今回の依頼内容を基にプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴としていて、ユーザが繰り返し同一のプリントシステムを利用してプリントサービスを依頼した場合には、継続して初回よりも安い料金でプリントを提供することが出来るのでユーザに対して割安感を持たせ、よってリピータの確保につなげることが出来る。

【0 0 0 7】

また請求項2の発明においては、
ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提

供するプリントサービスにおいて、
 前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
 前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけてその内容を記録する記録手段と、
 前記記録手段が最初に記録した日時と、今回記録した日時とを照合する照合手段と、
 前記照合手段の出力と今回の依頼を基にプリントの料金を計算する計算手段と、
 を有することを特徴としていて、出来るだけ早期に同一プリントシステムで追加プリント依頼をした方が得であるという意識をユーザに対して抱かせることができる。

【 0 0 0 8 】

請求項 3 の発明においては、前記ユーザから繰り返しプリントの依頼を受け付ける際には、前記ユーザがリピータであるか否かを確認した上で、前記最初に受け付けた際の料金システムとは異なった料金システムを適用することを特徴としていて、請求項 4 の発明によって、前記依頼者の確認に当たっては、前記依頼者名と前記依頼者の電話番号に基づいて作成されたユーザ ID により前記依頼者の確認を行っているので確実にユーザを特定することが出来る。

【 0 0 0 9 】

次に請求項 5 の発明においては、ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
 前記プリントサービスシステムは前記ユーザからのプリント依頼を処理するコンピュータを有し、
 前記コンピュータは前記ユーザからのプリント依頼を受けつけて前記ユーザ ID を記録する記録手段と、
 前記記録手段が最初に記録した個別のユーザ ID と、今回記録したユーザ ID とが同一か否かを照合する照合手段と、
 前記照合手段の出力を基に今回のプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴としていて、

ユーザからのプリントサービスの依頼を受け付けた時点でユーザがリピータであるか否か確認し割引料金を適用することが出来る。

【 0 0 1 0 】

請求項 6 の発明においては、ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記サーバコンピュータは、前記ユーザが入力した情報を基に、前記ユーザを特定するための個別ファイルを作成する個別ファイル作成手段と、
前記個別ファイル作成手段が前回作成した個別ファイルと、今回作成した個別ファイルとを照合する照合手段と、
前記照合手段の出力を基に今回のプリントの料金を計算する計算手段と、を有することを特徴としていて、確実にユーザを確認した上で割引料金を適応することが出来る。

【 0 0 1 1 】

請求項 7 の発明は、前記個別ファイルは、前記ユーザを識別するユーザ ID エリアと、受け付けに関連した内容を記録する受け付け内容エリアとからなることを特徴としていて、これのよりユーザの管理を確実に行うことが出来る。

【 0 0 1 2 】

請求項 8 の発明は、前記受け付け内容エリアには、前記ユーザからの依頼内容のほかに、少なくとも受付番号、受付日時、合計金額を含むことを特徴としていて、ユーザに関する情報が全て含まれることになる。

【 0 0 1 3 】

請求項 9 の発明は、ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、
前記サーバコンピュータは、ユーザが入力した氏名、電話番号、住所を基に登録番号を作成するための登録番号作成手段と、
前記ユーザが入力した登録番号、氏名、電話番号あるいは及び住所を記録する記録手段と、

前記登録番号作成手段がこれまでに作成した登録番号の内からと前記ユーザが入力した登録番号を検索する検索手段と、

前記検索手段の出力を基に前記ユーザの氏名、電話番号、住所を確認する確認手段と、を有することを特徴としていて、インターネット等を利用してプリントサービスを依頼した場合にもリピータであることを確認することが出来る。

【 0 0 1 4 】

請求項 1 0 の発明は、ネットワークを経由してラボのサーバコンピュータで受け付けたユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じて、プリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、

前記サーバコンピュータは、ユーザが入力した氏名、電話番号、住所を基に登録番号を作成するための登録番号作成手段と、

前記ユーザが入力した登録番号、氏名、電話番号あるいは及び住所を記録する記録手段と、

前記登録番号作成手段がこれまでに作成した登録番号の内からと前記ユーザが入力した登録番号を検索する検索手段と、

前記検索手段の出力を基に前記ユーザの氏名、電話番号、住所を確認する確認手段と

前記確認手段の出力に基づいてプリント料金を計算する計算手段と、を有することを特徴としていて、インターネット等を利用してプリントサービスを依頼した場合にもリピータであることを確認し、確実に割引サービスを受けることが出来る。

【 0 0 1 5 】

請求項 1 1 の発明は、前記プリント料金を計算するに当たっては、前記ユーザが同一のプリントシステムを利用する場合に適用することを特徴としていて、ユーザが同一のプリントシステムに対して常にプリントサービスを依頼する限りはたとえ受け取り窓口が変わったとしてもプリントシステム会社からの割引サービスを受けることが出来る。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 2 の発明は、前記プリント料金を計算するに当たっては、前記ユーザ

が同一の前記プリントサービス取り扱い窓口を利用する場合に適用することを特徴としていて、同一のプリント受付窓口を利用する限りはたとえプリントを依頼するプリントシステムを変えたとしてもその受付窓口での割引サービスを受けることが出来る。

【 0 0 1 7 】

請求項 1 3 の発明は、前記プリント料金の計算方法は、前記最初にあるいは前回に前記プリント依頼を受け付けた日時に応じて、複数種類存在することを特徴としていて、例えば 1 週間以内に次のプリント依頼をしてくれたならば割引率を最大にして、1 ヶ月以内に次のプリント依頼をしたら割引率を最大の半額に設定することにより、早期のユーザのプリント要求を助長させることが出来る。

【 0 0 1 8 】

請求項 1 4 の発明は、前記複数のプリント料金の計算方法において、前記最初にあるいは前回に前記プリント依頼を受け付けた日時からの経過日数が増加するに従って、前記最初に注文を受け付けた際の料金システムに近づくことを特徴としていて、あまり長期間次のプリント依頼がなかったならば本サービスの適用を受けられなくして、ユーザに早期プリント依頼が有利であるという意識を持たせることが出来る。

【 0 0 1 9 】

請求項 1 5 の発明は、前記プリント料金の計算の対象は、前記プリント依頼を 1 回受け付ける毎に課金する基本料金であることを特徴としていて、ユーザにこれまでの銀塩システムの焼き増しに近い感覚でプリントサービスを利用してもらうことが出来る。

【 0 0 2 0 】

請求項 1 6 の発明は、前記プリント料金の計算の対象は、各前記プリント依頼受付時のプリントの合計金額であることを特徴としていて、合計金額が大きいほど割引率を大きくして、ユーザに割安感を抱かすことが出来る。

【 0 0 2 1 】

【発明の実施の形態】次に、本発明による好適な一実施形態を示す。図 1 に本発明によるプリントサービスの課金システムのブロック図を示す。ユーザは自宅 1

01にネットワークと接続可能なパソコン102を持っていて、このパソコン102ではデジタルカメラ103やスキャナ104からデジタル画像を取り込んだり、プリンタ105にパソコン内のテキストデータや画像信号を出力することが出来る。このパソコン102は更にインターネット等のネットワークを介して複数のサーバに接続可能であり、ここではデジタル画像を銀塩プリントするサービスを提供しているA社ラボのサーバ106のホームページに設定されているプリント受け付け用画面に接続し、その画面を表示している。

【0022】

このサーバ106で受信した画像信号はA社ラボに設置されているプリンタで銀塩印画紙へプリントを行い、この出力されたプリントをユーザから指定された、ミニラボあるいはコンビニ等の引き渡し窓口108へと配送する。ここでは、A社ラボにはサーバ、プリンタとも設置されているようにしているが、これはもちろん離れて設置されていても良いし、またもし取扱窓口プリンタが設置されていたならば、それを利用した方が早期にユーザにプリントを手渡すことが出来る。

【0023】

次に図1の場合の信号と品物の流れについて、図3のフローチャートを基に説明する。まず、ユーザが自宅のパソコン101をインターネットに接続し、ステップS301でA社ラボの中からプリント受付用の画面を選択する。次にユーザはステップS302でユーザ名及び自分の電話番号と、もし以前にA社の登録番号を入手していたならばそれらを記入して、ステップS303でプリントしたい画像とともにA社ラボのサーバに送信する(図1①)。もちろんここで、自宅住所、プリントサイズ、個別及び全体のプリント枚数等も送信する。

【0024】

次にA社ラボではステップS304において、予め定められた書式に則って作成されているラボ用ユーザ個別ファイル(図5、詳細は後述)の中から、送られてきた登録番号等を基にユーザを検索する。そして、送られてきた氏名と住所に対応した登録番号がなかった場合には未登録であるのでその場合は、ステップS305で新規のラボ用ユーザ個別ファイルを作成し、そこに登録番号その他諸事

項を記録する。もしユーザから送信された登録番号と同一の登録番号のついたラボ用ユーザ個別ファイルが存在する場合には直ちにステップS306に進み、前述したラボ用ユーザ個別ファイル内の受け付け内容のエリアに今回のプリント依頼に対応する新しい受付番号を設定し、受け付け開始及び終了の日時、プリントサイズ、枚数等の所定事項を記録する。

【0025】

これらの登録が終了したならば、ステップS307でラボからユーザに先程作成したユーザ個別ファイルを転送し（図1②）、ユーザはこれを確認し、ステップS308でプリンタでラボから送られてきた内容をプリントし、次のステップS312でプリントを受け取るべく受け取り窓口108に提示する（図1④）。

【0026】

一方、ラボではラボ用ユーザ個別ファイルと送られてきた画像ファイルを基にステップS309で所定のプリントを作成し、このできあがったプリントとラボ用ユーザ個別ファイルとをまとめてユーザ指定の受け取り窓口108に配送する（図1③）。この際、プリント画像とユーザ個別ファイルとは同梱する必要はなく、このラボ用ユーザ個別情報（あるいはその一部）は別途ネットワークで転送しても良い。そのあと、受け取り窓口108においてはステップS311でラボから配送されてきたラボ用のユーザ個別ファイルを基に窓口用のユーザ個別ファイル（図6、詳細は後述）を作成する。

【0027】

受け取り窓口108においてはステップS312でユーザがプリントアウトして持参した注文情報と、窓口用ユーザ個別ファイルとを比較して、問題なかったならばステップS313でユーザから代金を受け取り（図1④）ステップS314でプリントをユーザに手渡し（図1⑤）、一連の手順を終了する。

【0028】

次に、ここまでの説明にでてきたラボ用ユーザ個別ファイル（図5）と、窓口用ユーザ個別ファイル（図6）の説明を行う。但し、ここでは従来新規にプリントを依頼する毎にユーザが支払っていた基本料については、1件あたりの額を5

0 0 円とし、それをラボと取扱窓口とで折半するものとする。

【 0 0 2 9 】

まず、ラボ側でユーザ情報を管理するために使用される、ラボ用ユーザ個別ファイルについて図 5 を基に説明を行う。図 5 から分かるようにこのファイルは大きく分けてユーザ I D エリアと受け付け内容エリアとにそれぞれ分かれている。このうち、ユーザ I D エリアについては一度登録したならば、ユーザからの住所変更あるいは電話番号の変更等の申請がない限り殆ど書き換ええないエリアである。

【 0 0 3 0 】

次に、受け付け内容のエリアについての説明を各項目毎に順に行って。まず、新規受付毎に（１）受付番号が新規に設定され、（２）受付種類において、今回のプリント依頼がインターネットで直接ユーザから受け付けられたものか、あるいは市中の一般の窓口でユーザから M O を直接提示されることにより受け付けられ、このラボに注文がなされたものかを分別して記録する。（３）は受付日、（４）、（５）はそれぞれインターネット受付の場合のデータの受信開始と終了の時刻である。（６）はユーザがインターネットで指定してきたプリント画像の受け取り窓口である。ここは、前述した、（２）受付種類がコンビニ経由であった場合にはここが受付窓口にもなっている。また、極希ではあるが、受付窓口と引渡窓口とが異なったりした場合でも、項目を一項目増やすことにより容易に対応できる。（７）は今回送られた画像の枚数とプリントする枚数及びかかった金額を記入する項目である。

【 0 0 3 1 】

この中で、基本料金については、第 1 回目の注文の受付に際しては 2 5 0 円請求しているのに対して、それ以降（図 5 では 2 回目）の注文に際しては、例えば、前回の注文から 1 週間経過していないので無料としている。基本料金の割引方法としては、これ以外に、1 週間以内だったら無料、1 ヶ月以内だったら半額に設定するという様に複数の割引率を設定したり、この日にちの起点を最初に注文を受け付けた日にちに設定したり、前回注文を受け付けた日にちに設定することもできる。また、合計金額に対して上と同様な割引システムを設定することも用

意である。(8)は本ラボにおけるプリント終了予定日時である。

【 0 0 3 2 】

次に、受付窓口用のユーザ個別ファイルについて図 6 を基に説明を行うが、内容は先程説明したラボ用ユーザ識別ファイルにかなり近いものとなっている。まず、ユーザ I D エリアについては前述したラボ用のユーザエリアと同様である。ただし、このうち登録番号はそれぞれの窓口固有のものであるので他の窓口あるいはラボの登録番号とは異なっている。受け付け内容のエリアについて、必要な項目を順に説明していく。(2) 受付種類については、ユーザが直接窓口で M O 等を提出してプリント注文したのか、あるいはインターネットでラボに注文したユーザがプリント引き取り窓口としてこの窓口を指定したかの 2 種類があるのでこれを区別している。

【 0 0 3 3 】

(4)、(5)の受け付け開始と完了の時間については、コンビニ等の一般の窓口においては不要であるが、もしもプリント設備のある窓口であったならばサーバからプリント画像を配送してもらうよりはネットワークを通してデータを送信してもらった方が格段にユーザに対してプリントを手渡すスピードが速くなるので、その際に、ラボからのデータの受信開始と完了時刻を記録しておく。(6)は窓口でユーザが指定した、プリントサービスシステム名を記録する。(7)は今回注文された詳細内容であって、1 件目の受付明細においては、当初受付窓口では自分の窓口分の金額以外は金額欄は空欄となっていて、B 社ラボからプリントが配送され、ラボ分の基本料が判明した時点で全てを記入するようにしている。2 件目の場合にはこの受付窓口では前回の注文から 1 ヶ月以内であったならば基本料は 0 円に設定しているものとし、ラボにおいてもこのユーザがこれまで述べたような何らかの過去の利用経歴があり 0 円に設定した場合を示している。

【 0 0 3 4 】

この様に、この図 1 の場合にはユーザが A 社のプリントシステムを依頼した時点で A 社のユーザ登録がされ、A 社から受付窓口へ引き渡し要請がされた時点で受付窓口にとってのユーザ登録が完了する。これ以降、ユーザが繰り返し同一のプリントシステム及び窓口を利用している限りはユーザに対して最良の割引率が

適用されることになる。これに対して、例えばユーザが、次回のプリント依頼において、プリントシステムとしてはA社ラボシステムを利用して、取扱窓口を今回とは異なる受付窓口を指定した場合には、ラボシステムの割引のみがユーザに対して適用されることとなる。

【 0 0 3 5 】

次に図2のブロック図と図4のフローチャートを用いて、コンビニやその他の小規模な取り扱い窓口からプリントサービスを受け付ける場合について説明する。

図2において図1と同一機能のものについては同一の番号をつけてある。まずユーザがデジタルカメラ103やスキャナ104等でパソコン102に取り込んだ画像データをフロッピディスクやMOディスク等の記録媒体に記録してプリントサービス取扱窓口108に提出する（図4ステップ401、図2①）。受付窓口108では図6で説明した窓口用ユーザ個別ファイルを作成し（図4ステップS402）、受け付け番号等をプリントしてユーザに手渡す（図4ステップS403、図2②）。受付窓口108ではそれと同時にユーザが指定したプリントシステムのラボ106に画像データと窓口用ユーザ個別ファイルを転送する（図4ステップS404、図2③）。

【 0 0 3 6 】

次にラボ106では窓口用ユーザ個別ファイルを基に図5で説明したラボ用ユーザ個別ファイルを作成し、プリンタ107で画像をプリントし（図ステップS406）、できあがったプリントとラボ用ユーザ個別ファイルとを取扱窓口108に転送する（図4ステップS407、図2④）。取扱窓口108では送られてきたラボ用ユーザ個別ファイルを基に窓口用ユーザ個別ファイルの必要箇所を追加記入し（図4ステップS408）、先に図4ステップS403でユーザに手渡しておいて受付番号等が記録された引き換えプリントによってユーザを確認し（図4ステップS409）、代金と引き換えに（図4ステップS410、図2⑤）プリントをユーザに手渡し（図4ステップS411、図2⑥）一連の手順を終了する。

【 0 0 3 7 】

この図 2 の場合には図 1 の場合とは逆に、ユーザが受付窓口で記録媒体を提出した時点で受付窓口でのユーザ登録が完了し、受付窓口からユーザ指定のプリントシステムに画像（あるいは記憶媒体）とユーザ個別ファイルが転送された時点で A 社のユーザ登録が完了する。これ以降繰り返して同一のプリントシステム及び窓口を利用している限りは図 1 の場合と同様に、ユーザに対して最良の割引率が適用されることになる。

【 0 0 3 8 】

現実には、プリントサービスの利用形態としては図 1、図 2 に述べた以外にも様々な場合が想定されるが、これまで説明してきたように、ラボ独自及び窓口独自の割引システムを利用することにより、基本的にはユーザが現行のような不利益を被ることはない。

【 0 0 3 9 】

また、これまで述べたラボ用及び窓口用ユーザ個別ファイルのうちで、受け付け内容のエリアに関しては、プリントがユーザに渡った時点でその注文番号の項目を消去するのではなく、ラボのサーバあるいは窓口のコンピュータのメモリに余裕ある限りは保存しておき、その後のユーザ分析に使用することが出来る。

【 0 0 4 0 】

また、ラボから受付窓口へ、あるいは受付窓口からラボにユーザの注文を送る際には、前述したユーザ個別ファイルの中ではユーザ ID の部分以外には一つの受付番号に関連した項目のみ送れば良いことはいうまでもないが、もしも受付窓口がラボの系列であった場合などには、窓口用ユーザ個別ファイルを全て送るようにすれば、例えば A 社以外にユーザがどのシステムをどれくらい利用しているか等のユーザ分析を行うことが出来非常に効果的である。もちろん系列窓口でなくても全てのユーザ個別ファイルを送るようにされていけばラボにとっては最も好ましい。そしてこれは受付窓口にとっても同様のことがいえ、他窓口に対して差別化を持った有利なユーザ対応を図っていくことが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に関わるプリントサービスの一実施形態のブロック図である。

【図 2】 本発明に関わるプリントサービスの他の一実施形態のブロック図である

。

【図 3】 図 1 のブロック図における物流を表すブロック図である。

【図 4】 図 2 のブロック図における物流を表すブロック図である。

【図 5】 ラボにおいて、ユーザ情報を記録しておくユーザ個別ファイルの説明図である。

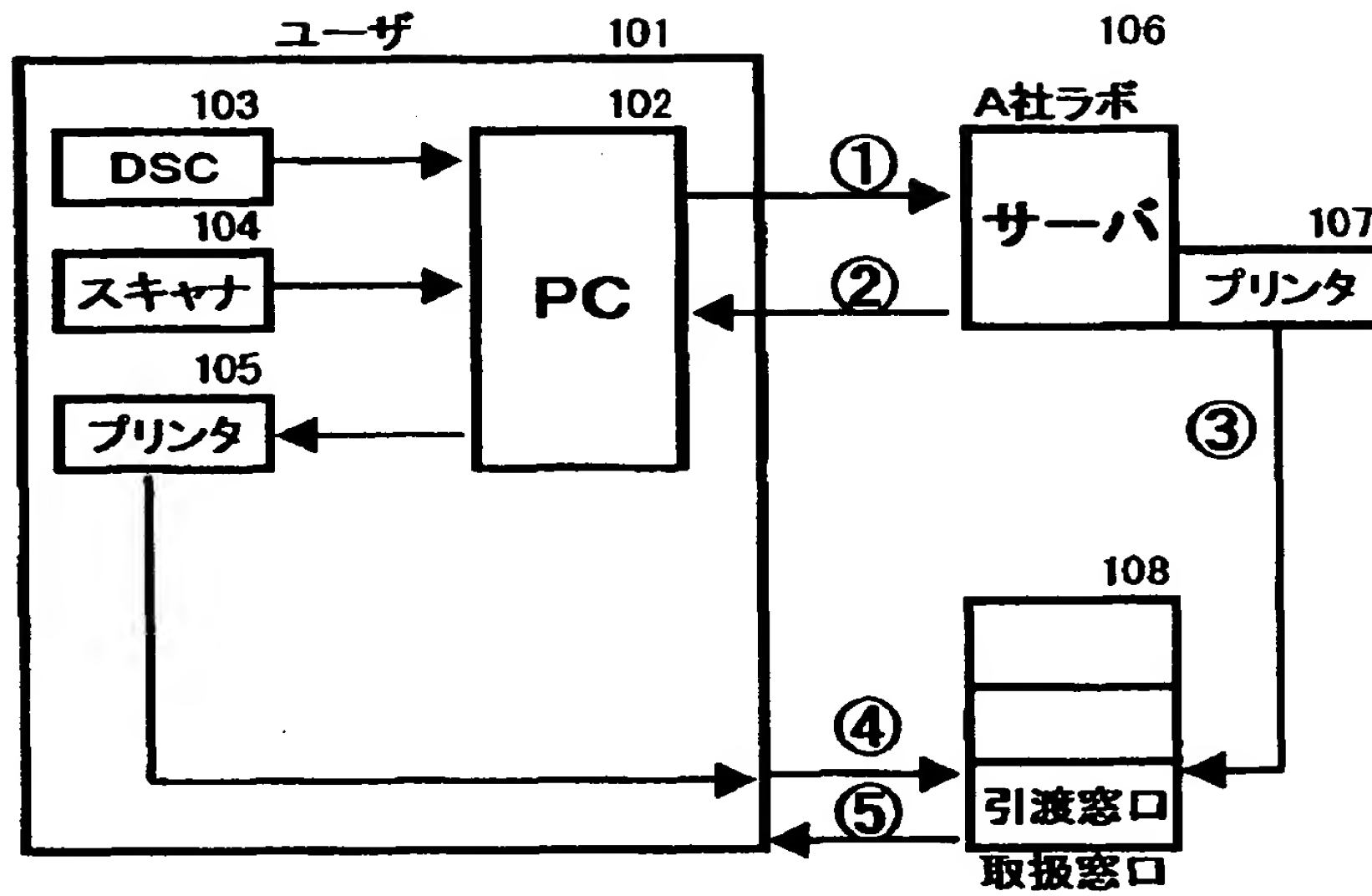
【図 6】 受付窓口において、ユーザ情報を記録しておくユーザ個別ファイルの説明図である。

【符号の説明】

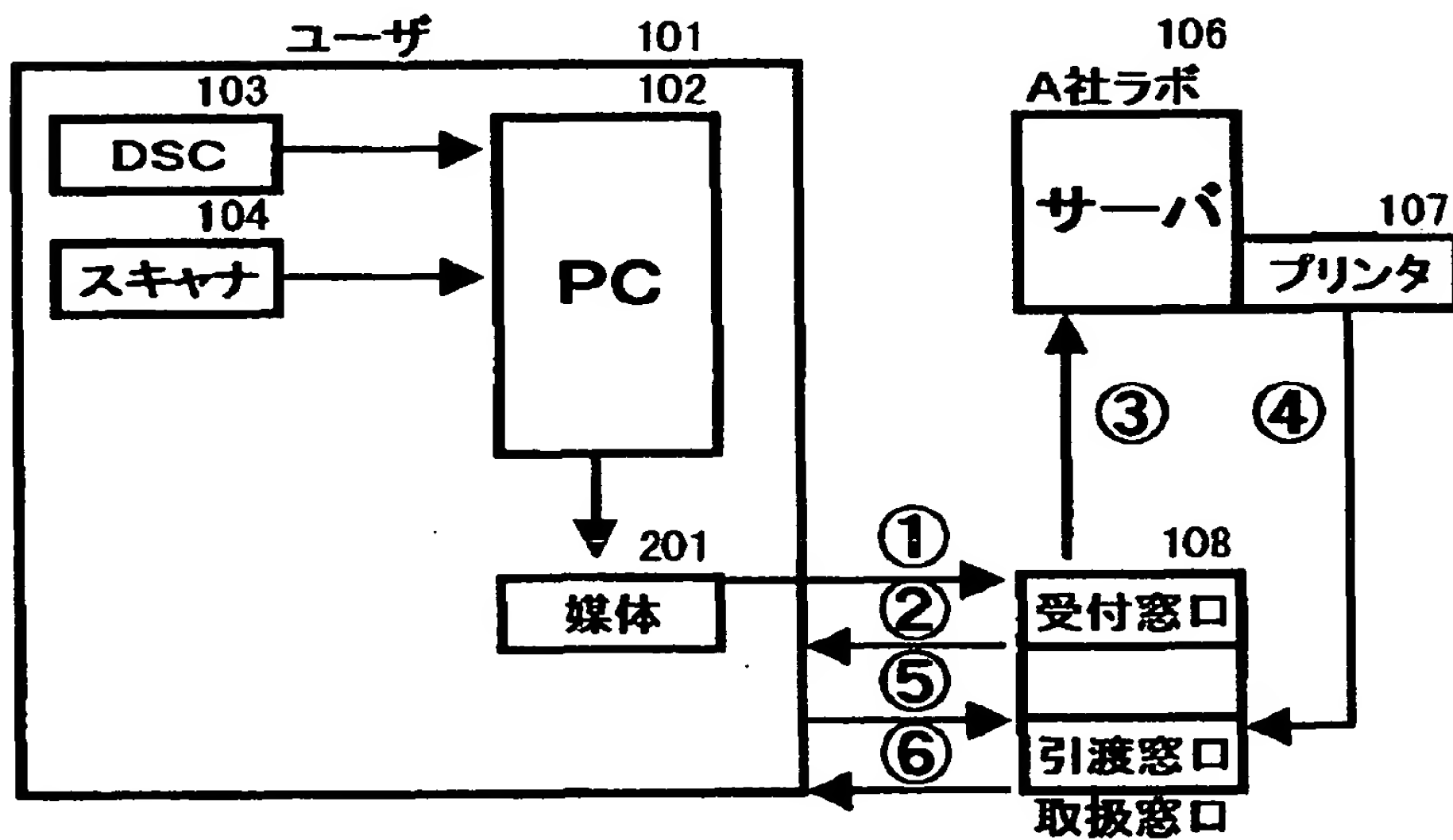
- 1 0 1 ユーザの自宅
- 1 0 2 ユーザ所有のパソコン
- 1 0 3 ユーザ所有のデジタルカメラ
- 1 0 4 ユーザ所有のスキャナ
- 1 0 5 ユーザ所有のプリンタ
- 1 0 6 ラボ内のサーバ
- 1 0 7 ラボ内のプリンタ
- 1 0 8 プリントシステム取扱窓口
- 2 0 1 記録媒体

【書類名】 図面

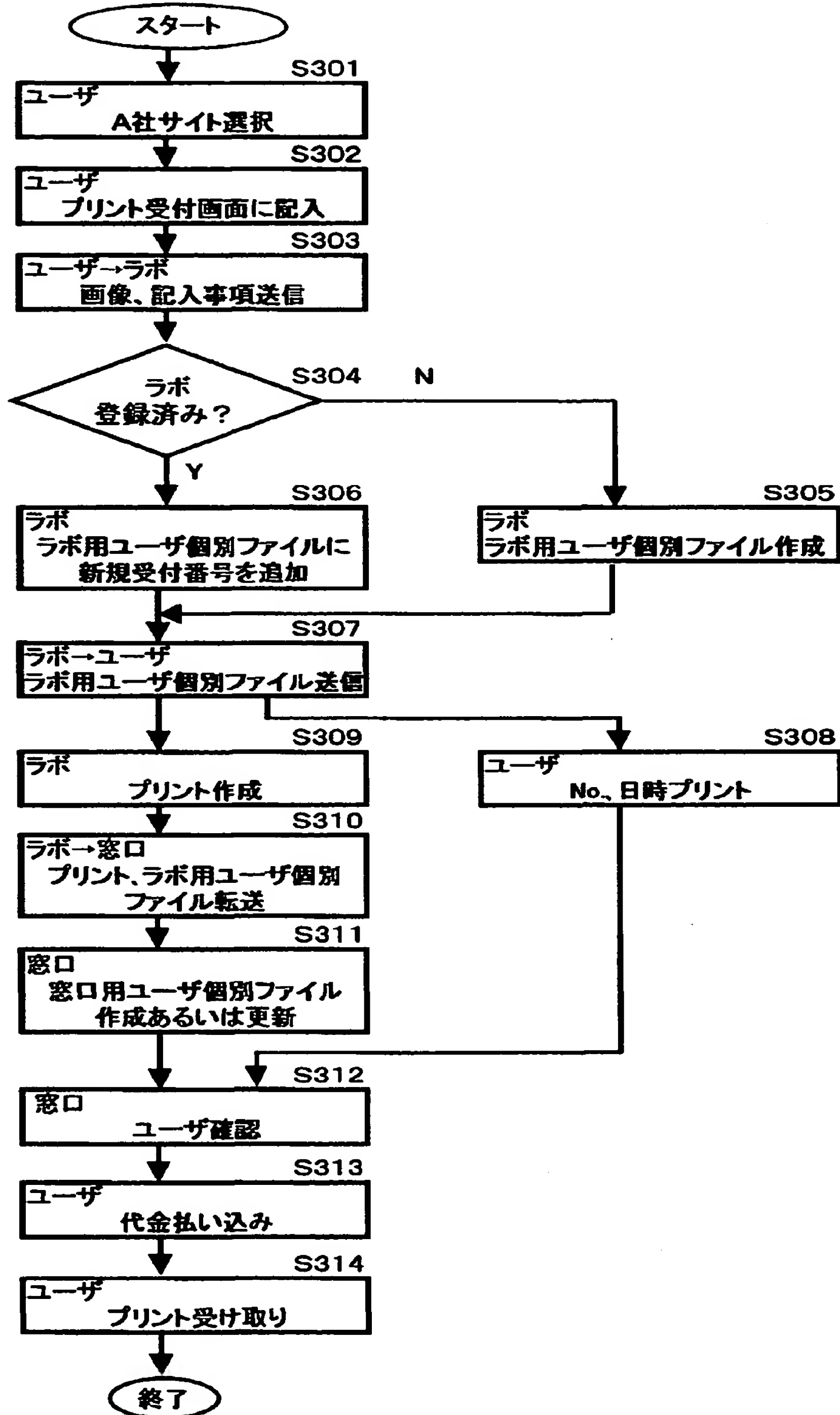
【図1】



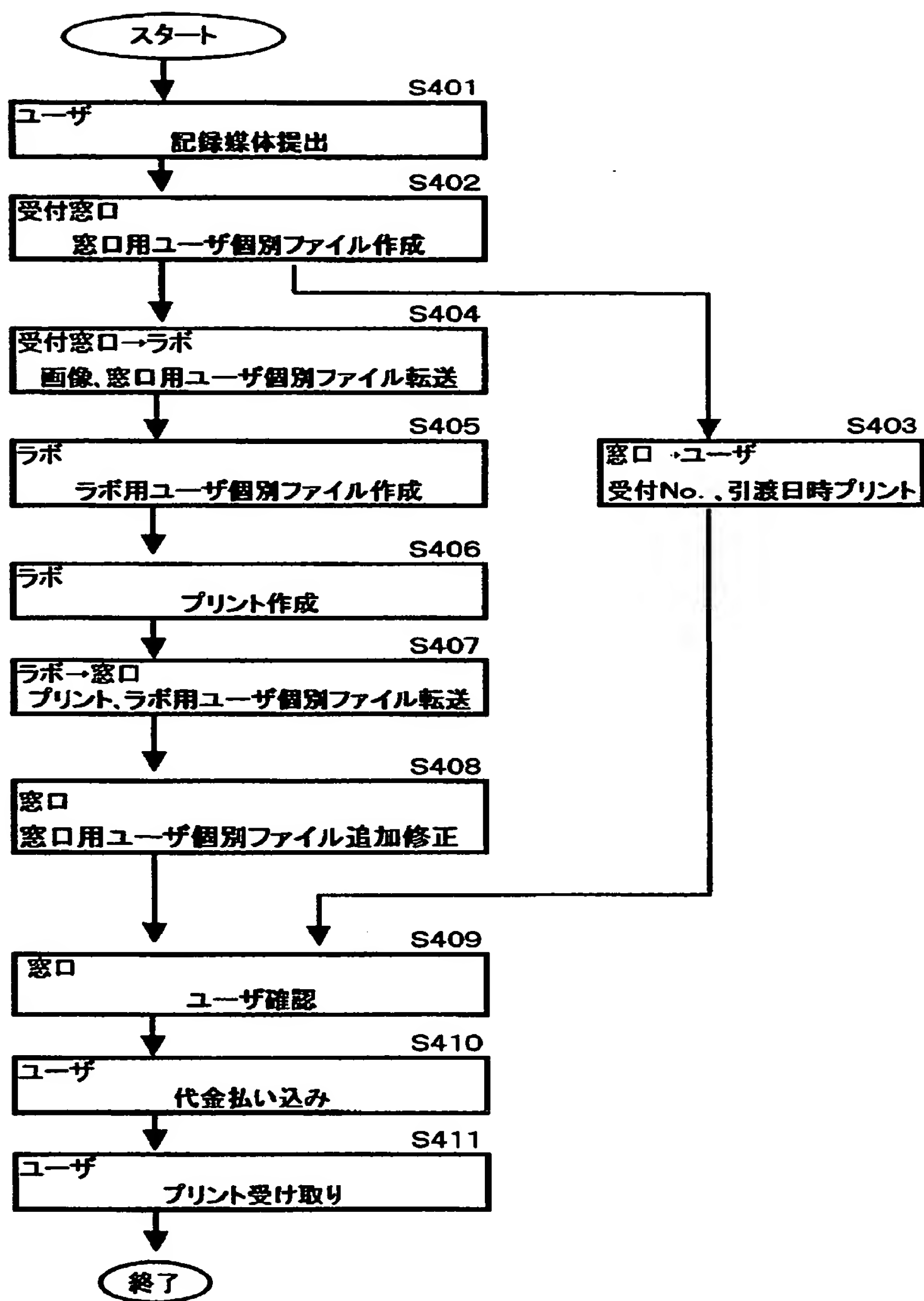
【図2】



【図 3】



【図4】



【図5】

ラボ用ユーザ個別ファイル			
ユーザID			
登録番号	A123123		
ユーザ名	山川海夫		
住所	東京都...		
電話番号	03(---)....		
受け付け内容			
(1)受付番号	B0000123		
(2)受付種類	インターネット		
(3)受付日	2000年3月4日		
(4)受付開始日時	17時01分		
(5)受付完了日時	17時24分		
(6)プリント引渡窓口	〇〇コンビニ××支店 (店コード:)		
(7)プリント内容・金額			
ファイル名	枚数	サイズ	
DSC0001	1	L	
DSC0003	1	2L	
DSC0008	3	L	
合計	Lサイズ	4枚	200円
	2Lサイズ	2枚	400円
基本料			250円
金額合計	850円		
(8)プリント完成予定日時	2000年3月10日		
(1)受付番号	B0000456		
(2)受付種類	インターネット		
(3)受付日	2000年3月6日		
(4)受付開始日時	19時25分		
(5)受付完了日時	19時27分		
(6)プリント引渡窓口	△△写真館◇◇支店 (店コード:)		
(7)プリント内容・金額			
ファイル名	枚数	サイズ	
DSC0003	5	L	
合計	Lサイズ	5枚	250円
基本料			0円
金額合計	250円		
(8)プリント完成予定日時	2000年3月12日		

【図 6】

窓口用ユーザ個別ファイル

ユーザID			
登録番号	Z789789		
ユーザ名	山川海夫		
住所	東京都...		
電話番号	03(...)... ..		
受け付け内容			
(1)受付番号	X0001001		
(2)受付種類	窓口		
(3)受付日	2000年2月10日		
(4)受付開始日時			
(5)受付完了日時			
(6)使用サービス名	B社プリントシステム		
(7)プリント内容・金額			
ファイル名	枚数	サイズ	
DSC0004	2	L	
DSC0006	1	L	
DSC0007	3	L	
合計	Lサイズ	6枚	円
	2Lサイズ	枚	円
基本料(ラボ分)			円
基本料(窓口分)			250円
金額合計			円
(8)プリント引渡予定日時	2000年2月16日		
(1)受付番号	X0001004		
(2)受付種類	A社ラボ		
(3)受付日	2000年3月1日		
(4)受付開始日時			
(5)受付完了日時			
(6)使用サービス名	A社プリントシステム		
(7)プリント内容・金額			
ファイル名	枚数	サイズ	
DSC0015	3	L	
合計	Lサイズ	3枚	150円
基本料(ラボ分)			0円
基本料(窓口分)			0円
金額合計			150円
(8)プリント完成予定日時	2000年3月7日		

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザに対して従来の銀塩プリントの焼き増し感覚で追加プリントの依頼をする気を起こさせるようなシステムを提供することを目的とする。

【解決手段】 ユーザからのデジタル画像データのプリント依頼に応じてプリントをユーザに提供するプリントサービスにおいて、前記ユーザから繰り返しプリントの依頼を受け付けた場合には、前回前記プリントの依頼を受け付けた日時に基づいて、最初に前記プリントの依頼を受け付けた際の料金システムとは異なった料金システムを適用する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [596075462]

1. 変更年月日 1997年 6月18日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都品川区二葉一丁目3番25号
氏 名 株式会社ニコン技術工房

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 4 1 1 2]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 9 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号
氏 名	株式会社ニコン